

つなぐ



茨城キリスト教学園
ニュースレター

第 15 号

vol.15

2 0 2 6
M A Y

茨城キリスト教大学大学院 / 茨城キリスト教大学
茨城キリスト教学園高等学校 / 茨城キリスト教学園中学校
茨城キリスト教大学附属認定こども園(みらい園・せいじ園)

発行日 2026.05.29, FRI

編集・発行: 法人事務局学園広報

バックナンバーも含めて
学園HPでご覧いただけます →



キアラ館と
ともに生きた

桜に
感謝



春に花開いて見る人を喜ばせ、夏に強い日差しから大きく広げた枝と葉で木陰となり癒しを与え、秋に色づく葉で夏の終わりを伝え、冬に雪の花を咲かせたキアラ館前の桜の樹が今年、50年以上の生涯を終えました。今回はその生涯にフォーカスを当てていきます。

キアラ館前の桜はいつから？—

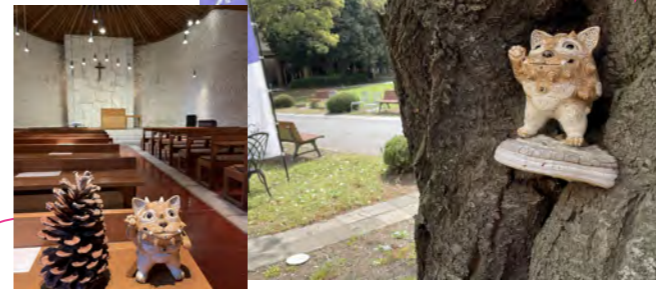
右の航空写真は、1967年のキアラ館が建つ前の写真です。写真の○の部分には、校舎建設の準備が進められている様子が見てとれます。この時、周辺に桜はありませんでした。航空写真の右下は1980年の写真でキアラ館が建っていることと、桜があることがうかがえます。

下の写真は、キアラ館竣工1974年11月2日の写真です。1967年の航空写真(基礎の写真)では樹がないのでキアラ館前の桜は、キアラ館が建った同じ時期に植樹され、現在まで根と葉を広げたのだろうと考えられます。

また、当時の写真を見ると、樹の周囲に今のようなアスファルトなどはなく、砂利で整地された広々とした場所に植えられていたことがわかります。



桜をめぐるアーティストたち



陶芸家・陶立体アーティスト 田崎 太郎さん

作品とともに礼拝堂を訪れ、桜の幹に生えたサルノコシカケを仔猫神像の居場所にした。

切り絵作家 竹蓋 年男さん (高校/大学OB)

満開の桜をモチーフに「キアラ館の春」を制作～礼拝堂入口に展示中



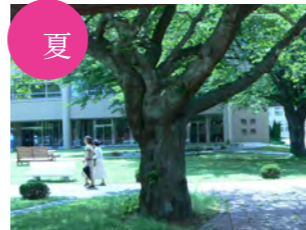
キアラ館とともに生きたシンボルツリー

目に入る桜の光景、表情こそ、その人にとっての物語

番外

夏秋冬の写真をピックアップ!

夏



秋



冬



キアラ館の壁に映る桜



最期の写真を集めました。

キアラ館前の桜百景



正面から見た桜とキアラ館に映る影

幹のねじれとこぼれ桜



満開の桜たち

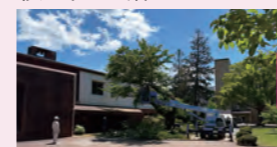


遂にその日が—



5月9日、新緑が輝く中、伐採が行われました。

枝を先に落とし…



幹を伐りました



伐根は後日



切り株

ともに生きるはじまり—

桜があった場所に、新たな植樹を計画しています。



学生、生徒、子どもたちと。いっしょに成長した桜

1979年 中学校入学式



1994年-2000年 短期大学ゼミ



2011年 東日本震災東北救援物資搬送拠点



2013年 学園託児施設 アンネローゼの散歩



2024年 IC・OC交流50周年

HOT TOPICS



まとめリンクは
←こちらから

ホットピックス
では学園や各設置
校のイベント活動を
紹介しています。



大学

文化交流体験 「日立風流物ボランティア」



また、一緒に協働推進している茨城大学の
学生も参加し大学間の交流も深めること
ができました。

7年に一度の神峰神社大祭礼にはユネスコの無
形文化遺産である「日立風流物」4基の山車が圧
巻の勢ぞろい。学生180名がボランティアで
参加しました。曳き綱や山綱をひく役割を手伝っ
たのはじめ、保存会の方から風流物の内部を
見学させていただき、糸操り人形の操作の手ほ
どきも受けることができました。



学園 スクールバスが新しくなりました！



これまで東京都内で使われて
いた車両をベースにイバキリ
仕様に仕上げました。(座席デ
ザインにその名残りがあ
ります。)前より機能性もアップ
(ノンステップ・車椅子2席乗
車可能・車内掲示板増設)
し、ラッピングデザインも
一新。

これまでのイメージを踏襲
しつつ、新しい風を感じさ
せる流れるデザインです。



高等学校 それぞれ校外学習に 行ってきました！

4/22(水)は高校1年生がお台場、2年生がディズニー
ランド、3年生がディズニーシーに、初の同日開催でそれぞれ校
外学習に出かけてきました。1年生は昨年度と同様に外国人
とチームを組んでAll Englishでミッションをクリアしてい
く探究型フィールドワークを実施。



2年生は午前中のキャリア探究学習を
経て、午後はパーク内での実地研修。
天気にも恵
まれ、生徒た
ちの笑顔が
溢れる1日
となりました。



中学校 マナー講習会を実施しました！



中学1年生が入学してから約1か
月、5月8日(金)にマナー講習会を
実施しました。前半は、ディズニ
ーアンバサダーホテルにて、ディズ
ニーリゾートのキャストをお招き
しておもてなしについて講習を受
けました。後半は、ディズニーランド
にてキャストの
おもてなしを
実際に体験し、
分析・習得しま
した。中高一貫
6年間のスタートにふさわしい、思
い出に残る行事となりました！



こども園 ワクワドキドキ 戸外遊びに夢中！

過ごしやすい気候の5月、こども園の子ども達は戸外遊び
に夢中です。小さいクラスの子も達は先生や友達と一緒に
砂の感触を味わって遊んだり、大きいクラスの子も達は
園庭で見つけた青虫を大事そうに虫かごに入れて観察を
したりして、思い思いに遊んでいます。日々のワクワクドキ
ドキする気持ちに寄り添いながら、一人ひとりの成長を見
守っていきたいと思います。



編集後記

キアラ館とともに生きてきた学園のシンボルツリーの桜が、半世紀にわたる生涯を終えた。最期の春となった今年も、澄み切った青空のもと、大きく枝を広げ満開の花が私たちを迎えてくれた。

だが、地面の下では根が限界を超えていた…。とても残念で寂しい。でも感謝しかない。

桜がいなくなった礼拝堂はどこか悲しいが、建築家 白井 晟一が建てた当時の煉瓦と白壁の強烈なコントラストが戻ってきた。冬には植樹が予定されている。学園の桜の物語はさらに続いていく。

(2026/05/29)

最後までお読みいただきありがとうございました。次号vol.16は、2026年9月発行予定です。

皆さまの声をお聞かせください。
Webアンケート実施中

